

平成16年技能五輪いわて開催

富山県技術専門学院の山本先生からリレートークを引き継ぎました飯坂です。

山本先生（山さんと呼んでました）とは学生時代、今は無き橋本駅前のパチンコ店で一緒にアルバイトし、同じ釜の飯（?）、特にカレーを食べた仲です。開店日の賄いは何故かカレーでした。

さて、山さんは、技能五輪のこと…と触れていましたので、そのことについてトークします。

その前に、岩手のことを若干紹介します。岩手には県立能力開発校が7校あり、地方では多いほうといわれています。さらに、民間の認定訓練校が16校あります。地域が頑張っているのです、岩手の職業訓練は頑張っていると認識しています。

こんななか、平成16年10月ごろに「技能五輪全国大会」が岩手で開催されることになりました。決定したのは、私が主管課にいたときの平成12年10月です。当時、技能五輪を担当しており、これに関してはいろいろ勉強させていただきました。群馬県（10年開催）、静岡県（同11年）には、開催に係る環境、予算、設備など多岐にわたってアドバイスいただきました。埼玉県（同12年）には人材の育成のノウハウを、福島県（同13年）には開催までの取組みをアドバイスいただきました。もちろん、山さんにも富山開催のことで聞いたこともあり、助けていただきました。

お陰で13年度から技能五輪に関する県事業も立ちあがりました。先催県にはいろいろお世話になり感謝しています。

技能五輪選手の出場には、本人はもとより、周りのスタッフの尽力が必須です。過去の開催県では、優秀な選

手を輩出しており、正直なところ、開催県のプライドもあります。岩手からも年々出場選手数が増加し、昨年度は当学院からも初出場、今年度の熊本大会では過去最多になりました。皆で参加し成功させようという思いが強くなっていると感じます。まずもって、関心があるということはいいい傾向です。

私も指導員としてかかわっていくわけですが、個人的には、「スポーツを通して若者を教育し、世界平和に導く」（オリンピックの精神）ならぬ、「技能を通して…」アワード「参加することに意義がある」の精神で、結果や勝負も大事ですが、大会を通じた人材育成も目標の1つにしたいと思います。



福島大会での岩手県選手（当学院卒業生、熊谷君）



さて、次のリレートークは、北海道へと北上、室蘭高等技術専門学院の代永先生です。学生時代のテニス部の後輩であり、常勝のプレーヤーで、キャプテンを務め、皆に大変慕われていた存在です。また、いろいろお願いしやすい後輩です。代永先生、よろしくお願ひします。